

宮下病院機能検討委員会

報告書

令和2年2月

目 次

I	はじめに	1
II	現状と課題	2
1	将来推計	2
2	外来	3
3	入院	4
4	救急	5
5	へき地医療	6
III	基本的な考え方	7
1	診療圏に必要な機能の確保	7
2	医療資源を活用した持続可能な運営	7
IV	機能のあり方	8
1	医療的機能	8
(1)	外来	8
(2)	入院	8
(3)	救急・診療時間外医療	8
(4)	へき地医療	9
(5)	在宅医療	9
2	保健福祉的機能	10
(1)	地域包括ケアシステム	10
(2)	予防医療・健康増進対策	10
3	運営・経営	11
(1)	医師、医療スタッフの確保	11
(2)	安定的な運営・経営	11
(3)	地域づくりへの参画	11
(4)	立地・施設	12
資料編	13
1	宮下病院の概要	13
(1)	病院概要	13
(2)	沿革	14

(3) 建物の状況	15
(4) 地域の特徴	16
2 宮下病院の運営状況	17
(1) 患者の利用状況	17
(2) 病床利用率	19
(3) 平均在院日数	19
(4) 訪問診療・訪問看護	20
(5) 出前講座・院内健康教室	20
(6) 医療機関・介護施設の連携状況	21
(7) 救急車搬送受入状況	22
(8) 診療応援状況	23
(9) 職員数	23
3 宮下病院の施設基準と病院・有床診療所の比較	24
4 宮下病院の診療圏（柳津町・三島町・金山町・昭和村）の現状	25
(1) 将来人口・患者推計	25
(2) 医療機関・介護施設リスト及びマップ	26
(3) 患者流出状況	28
(4) 診療圏の訪問看護・訪問介護事業所配置状況	29
5 宮下病院機能検討委員会	30
(1) 宮下病院機能検討委員会設置要綱	30
(2) 検討委員会委員名簿	32
(3) 検討委員会開催状況	32

I はじめに

福島県立宮下病院は、昭和26年11月、当時無医地区だった地域の要望に応え、へき地医療対策の一環として福島県により設置され、以来、柳津町・三島町・金山町・昭和村の診療圏を含むいわゆる奥会津において、唯一の公立病院として運営されています。

この度は、昭和44年に建築された施設の老朽化や狭隘な構造を踏まえ、建替えを前提として、当該病院の果たすべき機能のあり方について検討することとなりました。

このため、医療関係者、学識経験者、経営専門家等の有識者に加え、地元関係者の8名で構成する「宮下病院機能検討委員会」が設置されました。

本委員会では、当該病院の現状や取り巻く環境を踏まえ、今後も地域において必要とされる医療等の機能のあり方について、延べ4回にわたり検討を重ね、その結果を「宮下病院機能検討委員会報告書」として取りまとめたところです。

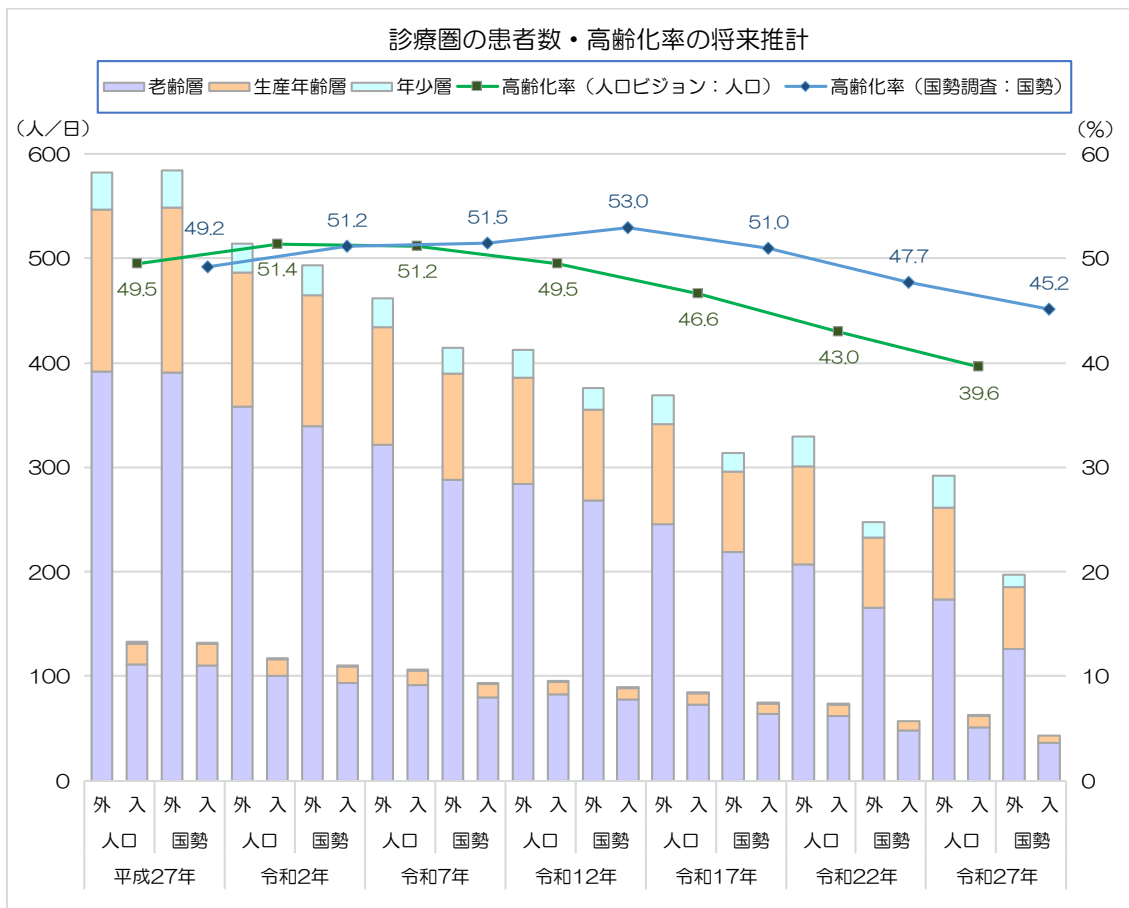
福島県におきましては、宮下病院が、奥会津における医療拠点として必要な機能を確保し、将来にわたって地域の期待に応えることができるよう、本報告書の内容を十分に踏まえながら、今後の建替えに向けた取組を進めていただくようお願いします。

令和2年2月

宮下病院機能検討委員会
委員長 濱口 杉大

Ⅱ 現状と課題

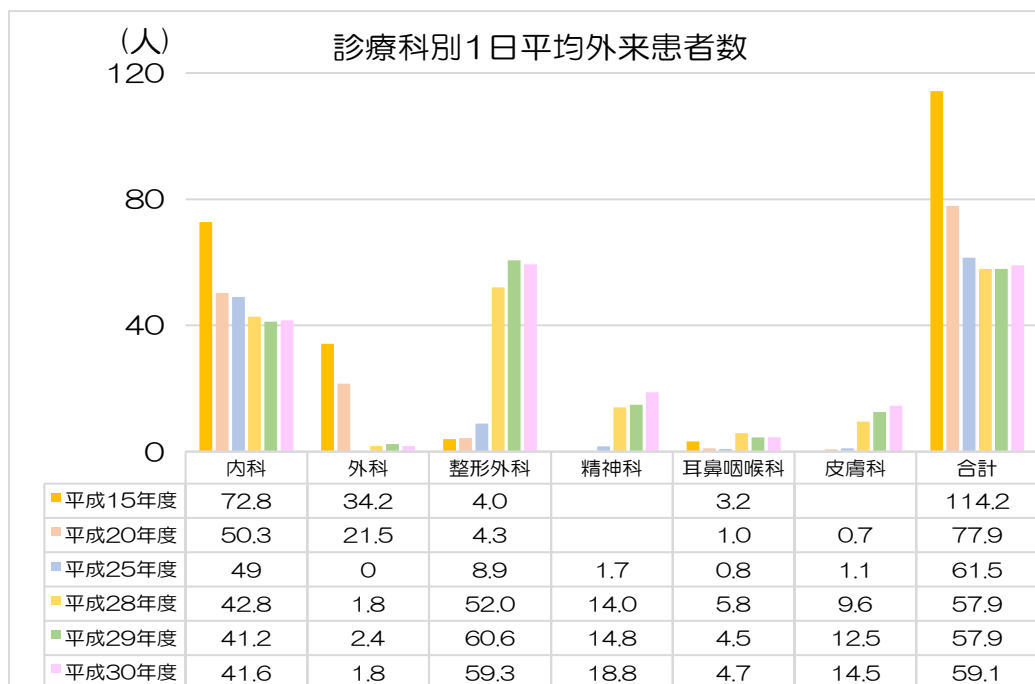
1 将来推計



課題

◆ 急激な患者減少が進む診療圏における医療の提供

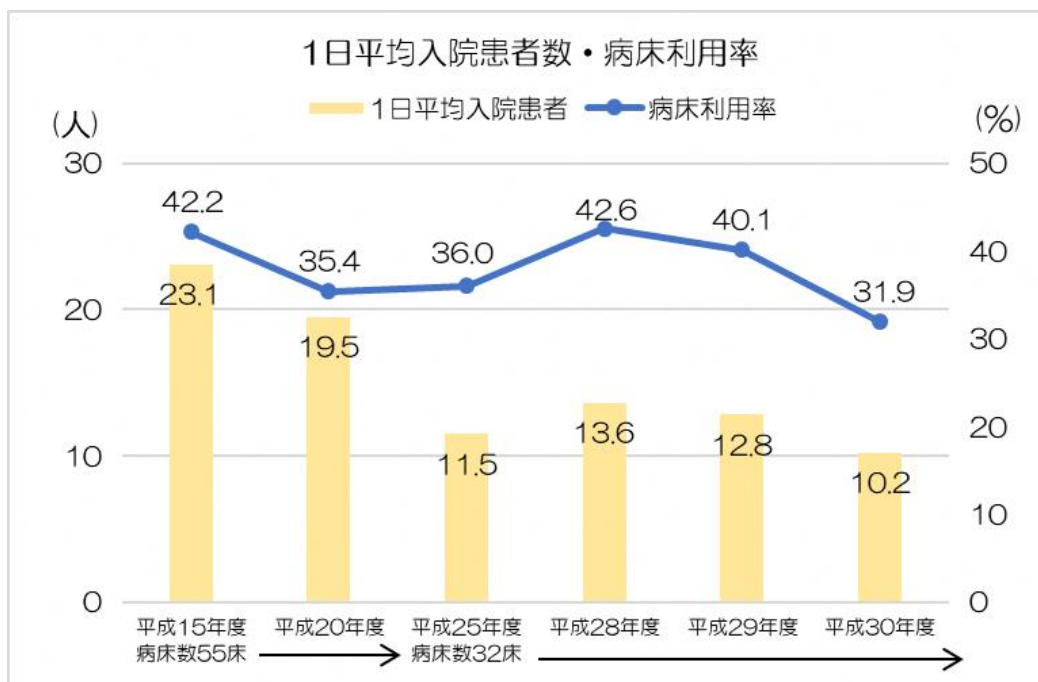
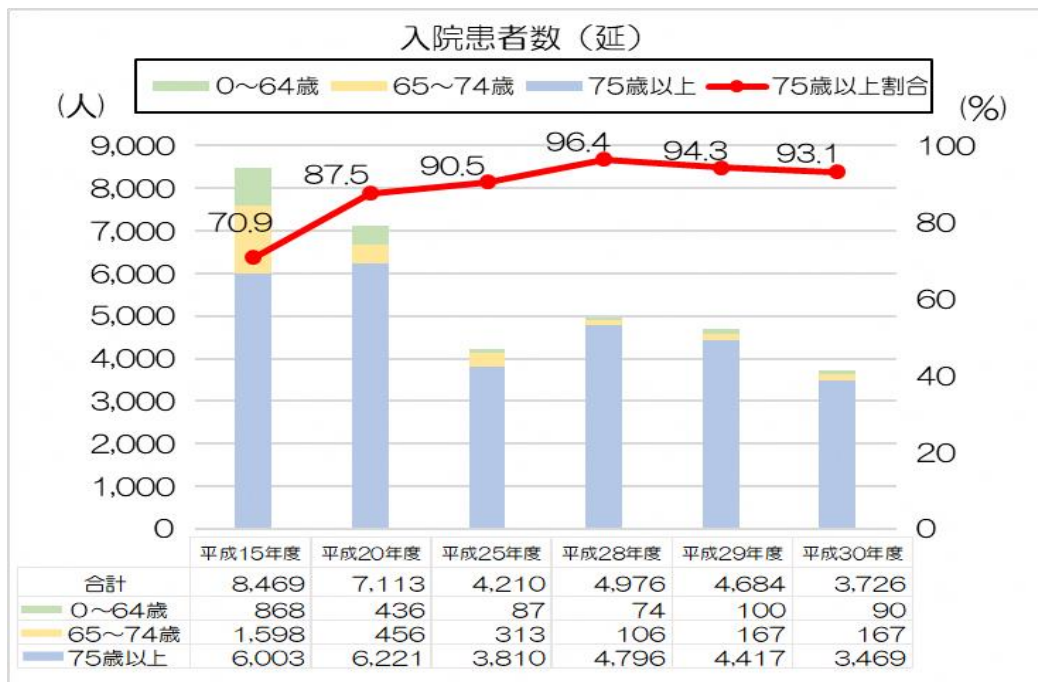
2 外来



課題

- ◆ 患者数の多い診療科（内科、整形外科）への十分な対応
- ◆ 高齢者向けの診療科（精神科、皮膚科等）の維持

3 入院



課題

- ◆ 診療圏で唯一の入院機能の維持
- ◆ 患者動向を踏まえた病床規模

4 救急

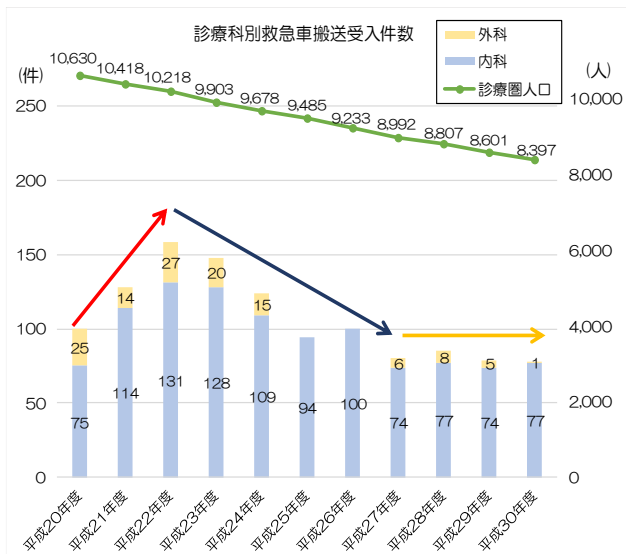
診療圏における救急搬送発生件数・宮下病院受入件数

町・村	平成29年	平成30年	
診療圏	発生件数	557件	602件
	受入件数	67件	84件
	受入割合	12.0%	14.0%
柳津町	発生件数	215件	252件
	受入件数	2件	6件
	受入割合	0.9%	2.4%
三島町	発生件数	106件	113件
	受入件数	21件	28件
	受入割合	19.8%	24.8%
金山町	発生件数	145件	138件
	受入件数	37件	36件
	受入割合	25.5%	26.1%
昭和村	発生件数	91件	99件
	受入件数	5件	11件
	受入割合	5.5%	11.1%
その他	発生件数	—	—
	受入件数	2件	3件
	受入割合	—	—

平成30年 宮下病院の救急搬送受入状況



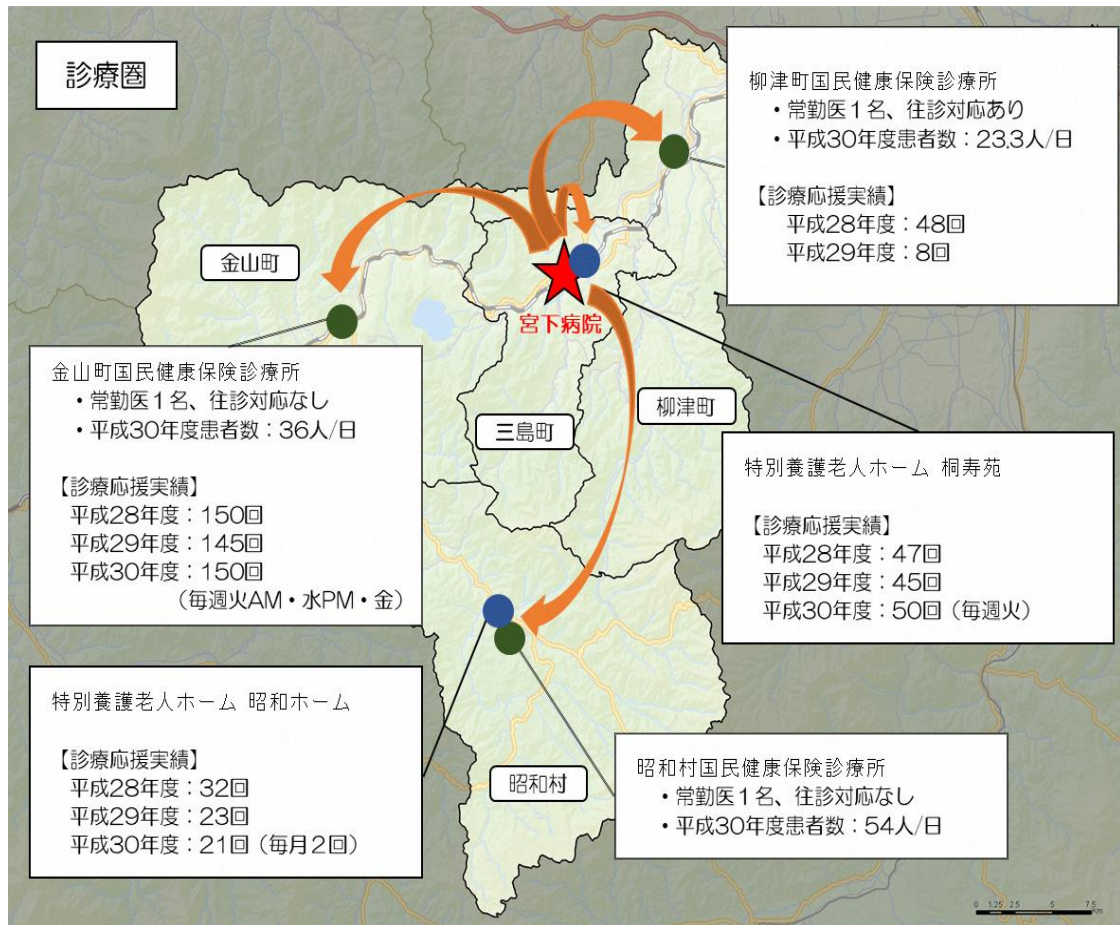
	内科(件)	外科(件)	合計(件)
平成20年度	75	25	100
平成21年度	114	14	128
平成22年度	131	27	158
平成23年度	128	20	148
平成24年度	109	15	124
平成25年度	94	0	94
平成26年度	100	0	100
平成27年度	74	6	80
平成28年度	77	8	85
平成29年度	74	5	79
平成30年度	77	1	78



課題

- ◆ 診療圏で唯一の救急・診療時間外対応機能の維持

5 へき地医療



課題

- ◆ 診療圏の限られた医療資源の効果的な活用
- ◆ 生活交通不便地域における高齢者等への医療の提供

Ⅲ 基本的な考え方

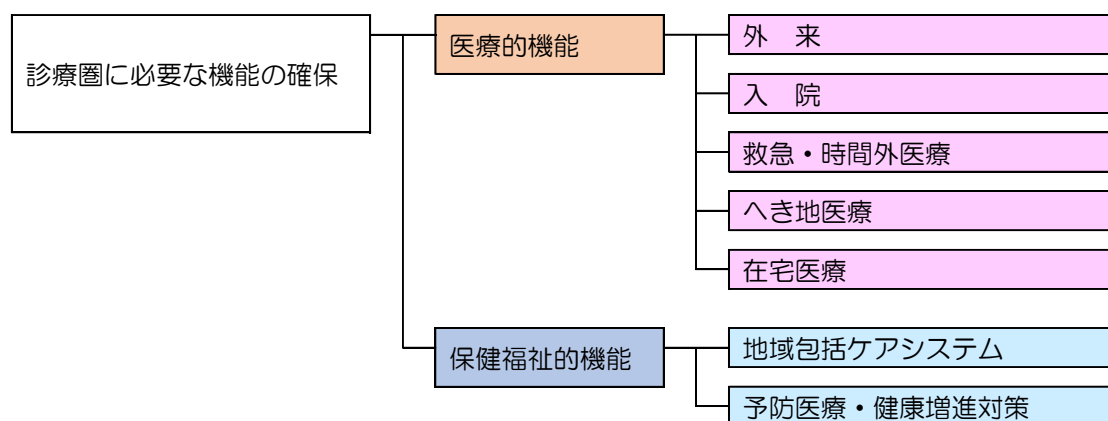
現状と課題を踏まえ、機能のあり方に関する基本的な考え方を定めました。

奥会津における持続可能な医療提供の確保

これに沿って、次のとおり、機能のあり方を整理します。

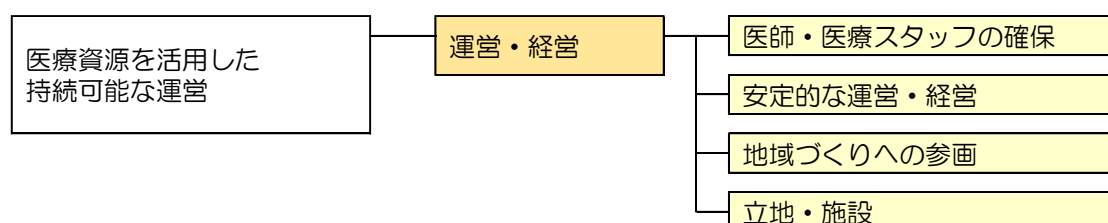
1 診療圏に必要な機能の確保

民間病院の進出が困難なへき地において住民の健康を守っていくためには、公的な医療機関が、今後も必要な機能を確保していく必要があります。



2 医療資源を活用した持続可能な運営

将来的にも持続可能な運営のためには、医療人材や施設、財源など限られた医療資源を踏まえた経営や地域活動に取り組んでいく必要があります。



IV 機能のあり方

1 医療的機能

(1) 外来

- ・ 診療科目は内科・整形外科・精神科・皮膚科・耳鼻咽喉科等
- ・ 常勤の内科及び整形外科医の確保

- 今後も高い需要が見込まれる「内科」、「整形外科（外科）」を主要な診療科とし、常勤医の確保が求められます。
- 今後も高齢者の需要が見込まれる「精神科」「皮膚科」等も必要となります。

(2) 入院

- ・ 病床を有する診療所として入院に対応

- 診療圏に民間病院の進出が見込まれないため、病床を有する唯一の医療機関として継続が必要となります。
- 入院患者の動向や効率的な運営の視点を踏まえ、在宅医療等を充実しつつ、有床診療所とすることが適当であると考えられます。

(3) 救急・診療時間外医療

- ・ 救急協力医療機関として初期救急・診療時間外患者を受入

- 診療圏で受入可能な医療機関が他にないため、一定の設備を備えた救急等対応可能な唯一の医療機関として継続が必要となります。

(4) へき地医療

・ へき地の実情に即した医療提供体制の確保

- へき地医療を維持・継続するためには、診療圏の医療機関等と連携しながら、へき地の実情に即した医療提供体制を確保していく取組が求められます。

(5) 在宅医療

・ 在宅医療（訪問診療・訪問看護等）の提供

- 高齢者が多い診療圏において需要の高まりが想定されるため、住民の暮らしを見守る訪問診療や訪問看護など、在宅医療の充実が必要となります。
- 患者や家族等へのサービスの提供が可能な訪問看護ステーションの設置や、自立維持のための在宅訓練を行う訪問リハビリテーション等の検討が求められます。

2 保健福祉的機能

(1) 地域包括ケアシステム

- ・ 医療機関として地域包括ケアシステムの構築を支援

- 地域包括ケアシステムの構築を支援するため、在宅医療の提供や通所リハビリテーション等の医療機関としての役割を果たすほか、関係機関の連携体制強化などの取組が求められます。

(2) 予防医療・健康増進対策

- ・ 町村等と連携した予防医療・健康増進対策

- 高齢者が多い診療圏の特性を踏まえ、「健康寿命延伸」をコンセプトに、健診や健康教室等の取組など、町村等と連携した予防医療や健康増進対策の充実が求められます。

3 運営・経営

(1) 医師、医療スタッフの確保

- ・ 町村等と連携した「働きたい」「暮らしたい」と思える環境づくり
- ・ 福島県立医科大学等との連携強化による医療人材の確保

- 運営に必須な医師等確保のため、教育体制・研究資源等の整った「働きたい」施設環境づくりや、地域の魅力・資源を活用した「暮らしたい」生活環境づくりなど、町村等と連携した手厚い対策が求められます。
- へき地で求められる幅広い疾病に総合的に対応が可能な医師等を福島県立医科大学等と連携強化し、確保することが必要となります。

(2) 安定的な運営・経営

- ・ 医療提供体制維持のための安定的な運営・経営

- 医療提供体制の維持には、医療人材や施設、財源など限られた医療資源を踏まえた効率的かつ効果的な経営が必要となります。
- 安定的な運営に向けて、医療人材等を確保できる体制の検討が求められます。

(3) 地域づくりへの参画

- ・ 医療機関の専門性を活かした町村等の取組との連携

- 医療活動のみならず、地域づくりにも参画するため、医療機関の専門性を活かし、町村等独自の取組との連携が求められます。

(4) 立地・施設

- ・ 診療圏の医療拠点であることを踏まえた立地や施設づくり

- 通院や在宅医療、災害対策に加え、町村施設等との緊密な連携など、診療圏における唯一の医療拠点であることを踏まえた立地や施設づくりが求められます。

資料編

1 宮下病院の概要

(1) 病院概要

平成 31 年 4 月 1 日現在

病院名	宮下病院
住所	三島町大字宮下字水尻 1150
診療圏	柳津町、三島町、金山町、昭和村
病床数	一般病床 32 床
診療科	内科〔毎週月～金〕、外科〔毎週月・火・木・金午前 ※金は月 1 回のみ〕、整形外科〔毎週水午前 ※第 5 週休診〕、精神科（心身医療・もの忘れ外来）〔毎週火午前 ※第 3・5 週休診〕、耳鼻いんこう科〔毎週月午前〕、皮膚科〔第 1・3 木午前〕
施設基準等	一般病棟入院基本料（10 対 1）、重症者等療養環境特別加算、感染防止対策加算 2、医療安全対策加算 2、がん治療連携指導料、入院時食事療養（1）、認知症ケア加算 2、医療安全対策地域連携加算 2、薬剤管理指導料、後発医薬品使用体制加算 1、運動器リハビリテーション料（3）、呼吸器リハビリテーション料（2）、在宅患者訪問褥瘡管理指導料、遠隔画像診断（送信側）、検体検査管理加算（1）、コンピューター断層撮影（CT 撮影）、胃瘻造設術、胃瘻造設時嚥下機能評価加算
建設年月	昭和 44 年 12 月（築 50 年）
指定機関等	へき地医療拠点病院、救急協力病院

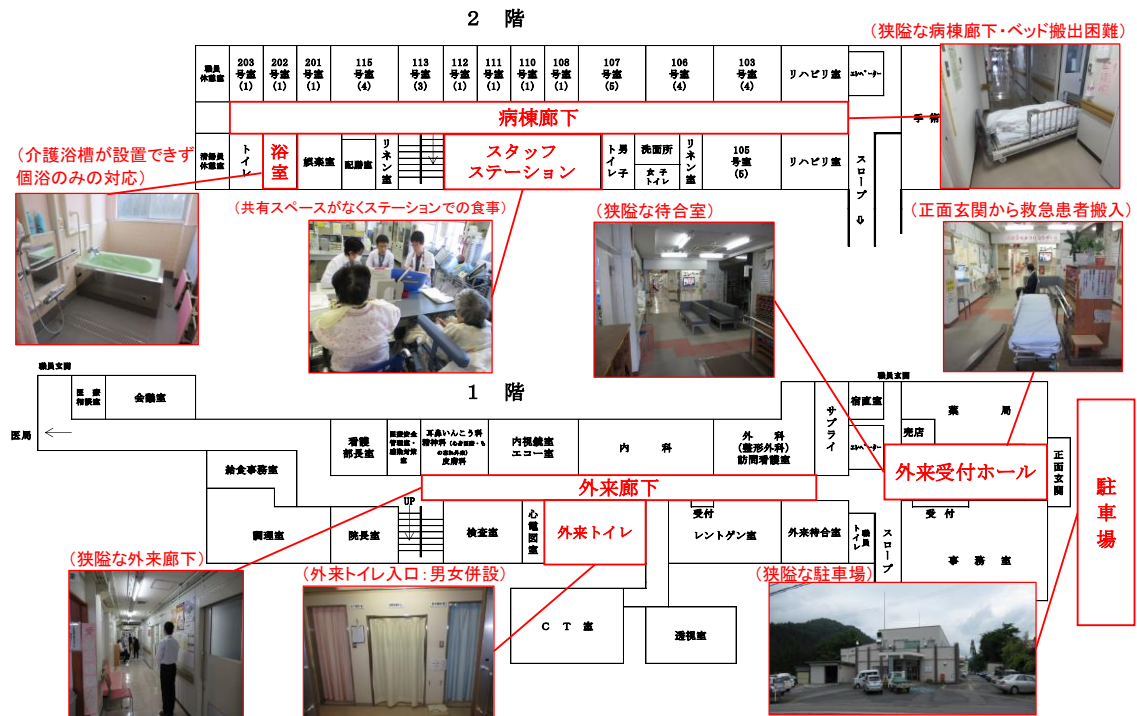
(2) 沿革

昭和 26 年 11 月	病院開設 一般病床 24 床 診療科目：内科・外科・産婦人科
昭和 27 年 6 月	病棟増築 9 床増床（合計 33 床）
昭和 28 年 11 月	伝染病隔離病舎併設 13 床増床、一般病床 4 床増床（合計 50 床）
昭和 32 年 11 月	病棟増築 8 床増床（合計 58 床）
昭和 33 年 6 月	病室改造 2 床減床（合計 56 床）
昭和 35 年 9 月	病床区分変更 一般 23 床、結核 20 床、伝染 13 床（合計 56 床）
昭和 39 年 5 月	病室改造 3 床減床（合計 53 床）
昭和 39 年 7 月	眼科診療開始
昭和 44 年 12 月	病院庁舎新築移転 一般 45 床、結核 10 床、伝染 10 床（合計 65 床）診療科目：内科・外科・産婦人科・眼科
昭和 45 年 7 月	産婦人科休診
昭和 45 年 7 月	整形外科診察開始
昭和 48 年	整形外科休診
昭和 54 年 2 月	眼科休診
昭和 56 年 4 月	病床の変更（結核 10 床を一般病床に変更）一般 55 床、伝染 10 床（合計 65 床）
平成元年 9 月	伝染病床 10 床廃止（合計 一般 55 床）
平成 5 年 7 月	整形外科診療再開
平成 6 年 11 月	神経精神科診療開始
平成 8 年 10 月	耳鼻いんこう科診療開始
平成 13 年 4 月	診療圏内のへき地診療所への診療応援開始
平成 14 年 2 月	（財）日本医療機能評価機構の認定（一般病院 A）取得
平成 16 年 4 月	地方公営企業法の全部適用
平成 16 年 6 月	「へき地医療拠点病院」に指定
平成 19 年 2 月	（財）日本医療機能評価機構の再認定（Ver.5.0）取得
平成 19 年 5 月	皮膚科診療開始
平成 19 年 6 月	患者送迎バス運行開始
平成 21 年 4 月	一般病床 32 床（一般 23 床削減）
平成 22 年 1 月	「救急協力病院」に認定
平成 25 年 2 月	（財）日本医療機能評価機構の再認定（Ver.6.0）取得、整形外科と神経精神科を遠隔診療から毎週診療へ変更、外科休診

平成 25 年 6 月	リハビリ室オープン
平成 25 年 11 月	精神科の院内呼称「心身医療・もの忘れ外来」開始
平成 27 年 4 月	外科再開 耳鼻いんこう科を毎週診療へ変更
平成 28 年 3 月	耐震改修工事竣工
平成 29 年 2 月	(公財) 日本医療機能評価機構の再認定 (3rdG:Ver.1.1) 取得
平成 29 年 4 月	在宅療養生活支援外来「愛ばんしょ外来」開設
平成 30 年 11 月	介護保険による訪問看護事業を開始

(3) 建物の状況

老朽化・狭隘化により患者の療養環境やスタッフの職場環境が整っていない状況にあります。



(4) 地域の特徴

宮下病院が立地する三島町を含む奥会津は、県の西部に位置し、尾瀬を源流とする只見川及びその支流沿いにある山間の地域で、冬は積雪が2mを超えることもある豪雪地域です。

只見川に沿って走るJR只見線は、新潟・福島豪雨による被害からの全面再開に向けた取組が行われ、渓谷と鉄道が織り成す四季折々の風景を楽しむ観光キャンペーンも展開されています。

住まいや仕事の確保等、移住への支援も積極的に行われており、地域への移住・二地域居住世帯が増えています。

雪国ならではの民具作りの知恵や、暮らしに根付く民俗行事が継承され、町民が守り継いできた文化を大切にする地域づくりが展開されています。

柳津町



福満虚空蔵菩薩圓藏寺



あわまんじゅう

三島町



第一只見川橋梁



奥会津編み組細工

金山町



沼沢湖



炭酸水

昭和村



からむし織

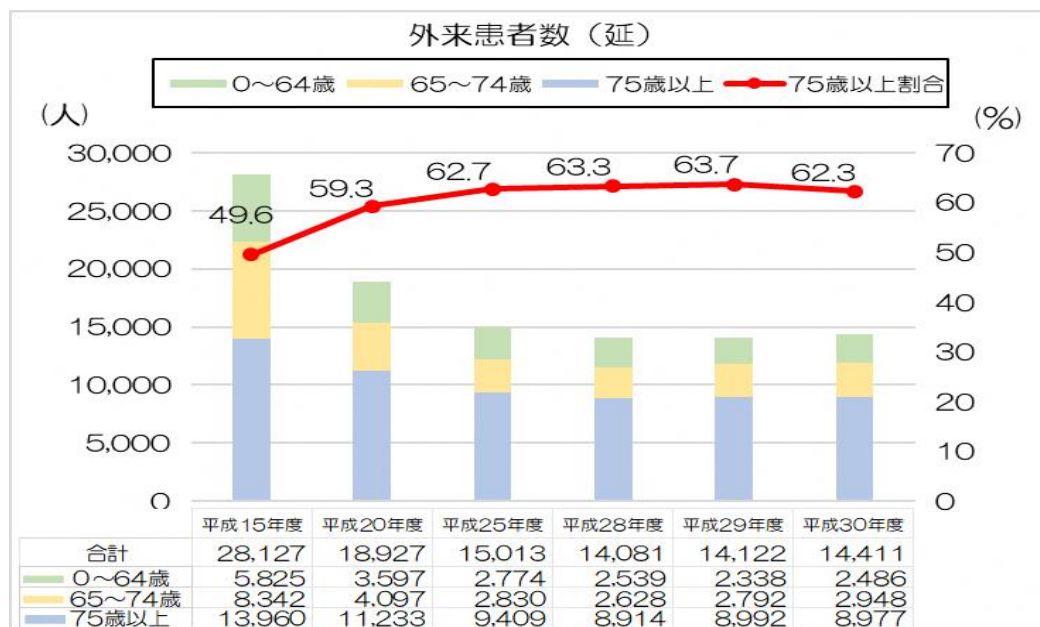


カスミソウ

2 宮下病院の運営状況

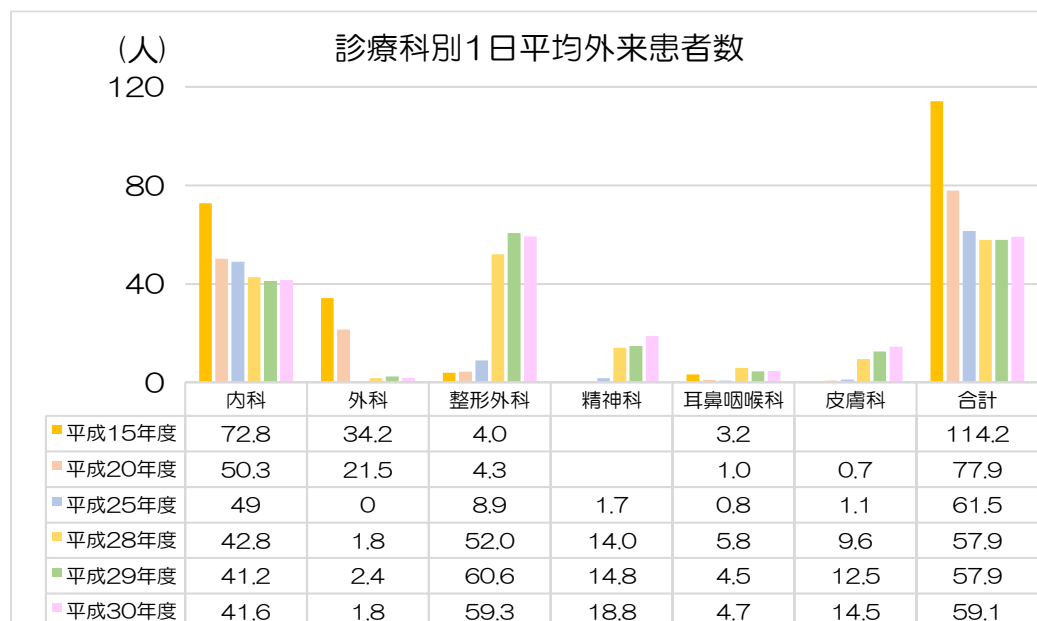
(1) 患者の利用状況

平成 15 年度～平成 30 年度の外来患者数（延）は 14,081 人～28,127 人で推移し、平成 15 年度以降の 75 歳以上患者割合は 49.6%～63.7%で推移しています。



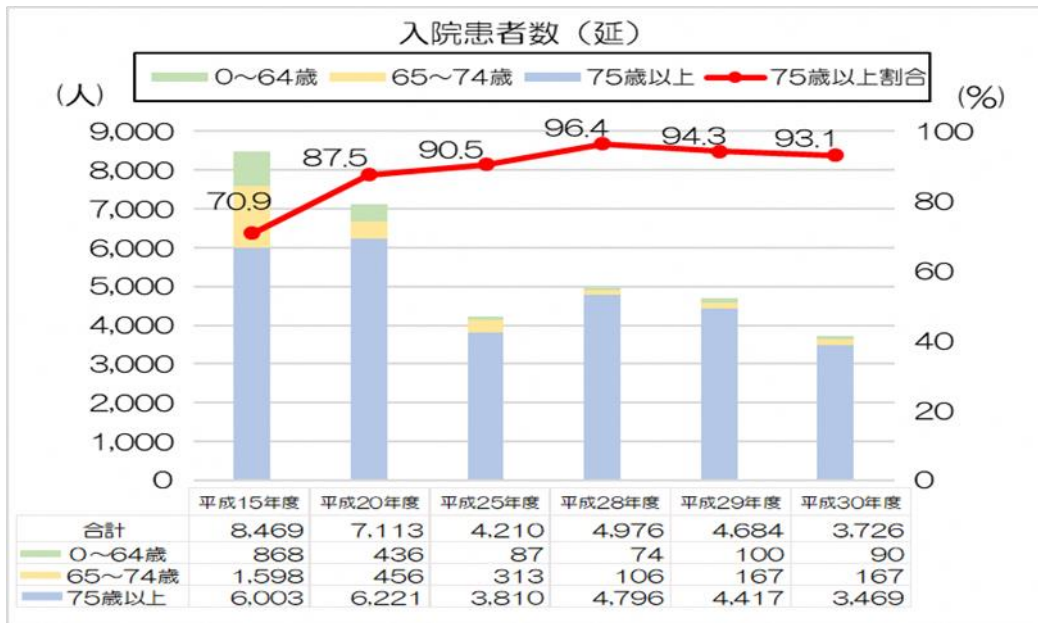
※宮下病院「院内統計データ（平成 15 年度～平成 30 年度）」より

平成 30 年度における診療科別の 1 日平均外来患者数は整形外科が最も多く、次いで内科、精神科、皮膚科、耳鼻咽喉科、外科の順となっています。



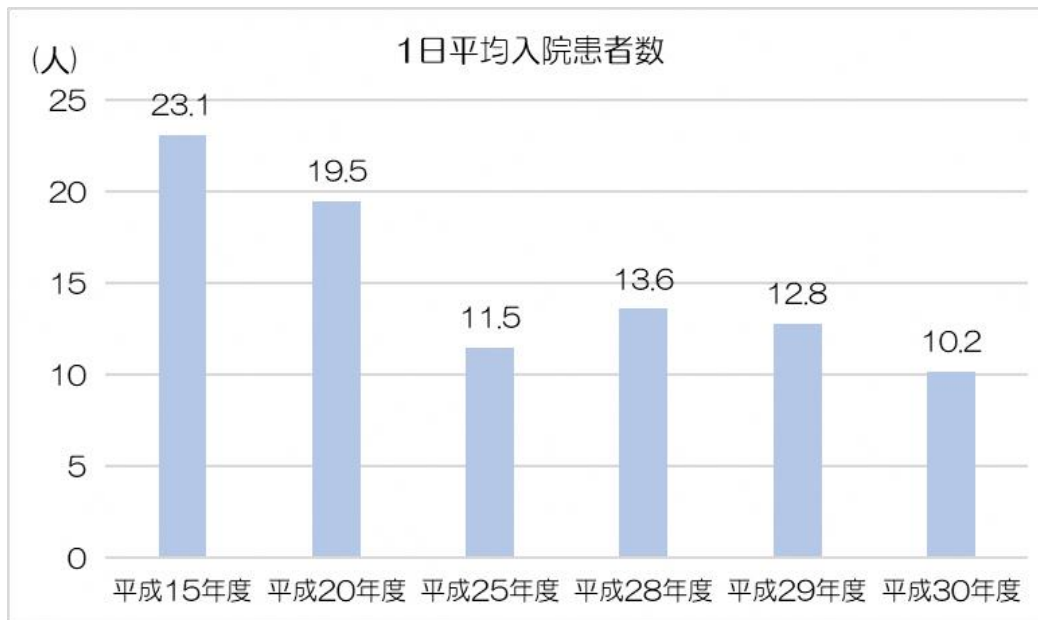
※宮下病院「院内統計データ（平成 15 年度～平成 30 年度）」より

平成 15 年度～平成 30 年度の入院患者数（延）は 3,726 人～8,469 人で推移し、平成 15 年度以降の 75 歳以上患者割合は 70.9%～96.4%で推移しています。



※宮下病院「院内統計データ（平成 15 年度～平成 30 年度）」より

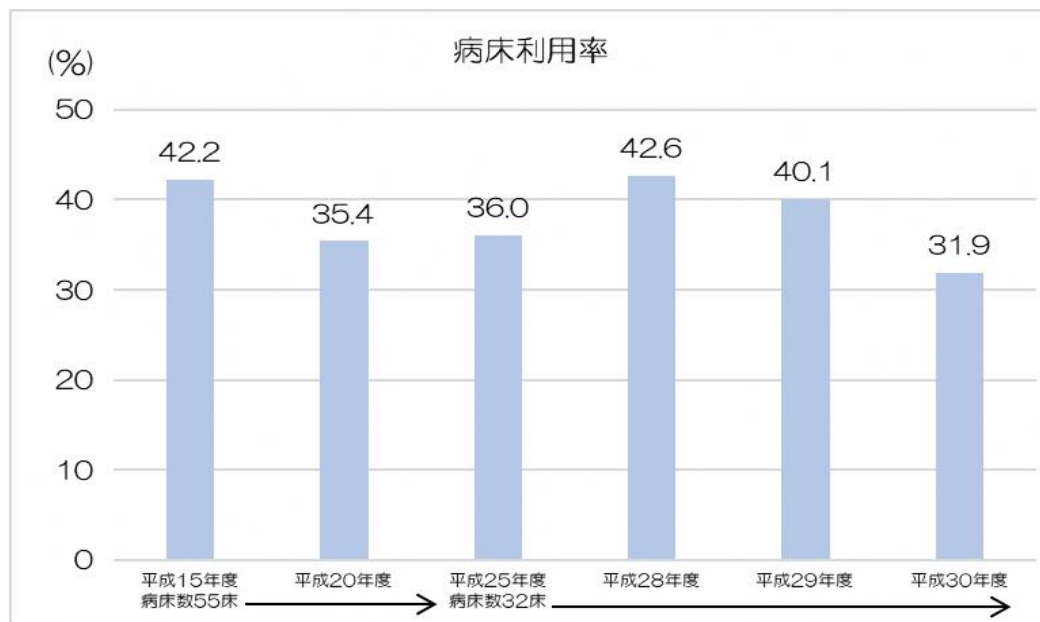
平成 15 年度～平成 30 年度にかけて、1 日平均入院患者数は 10.2 人～23.1 人で推移しています。



※宮下病院「院内統計データ（平成 15 年度～平成 30 年度）」より

(2) 病床利用率

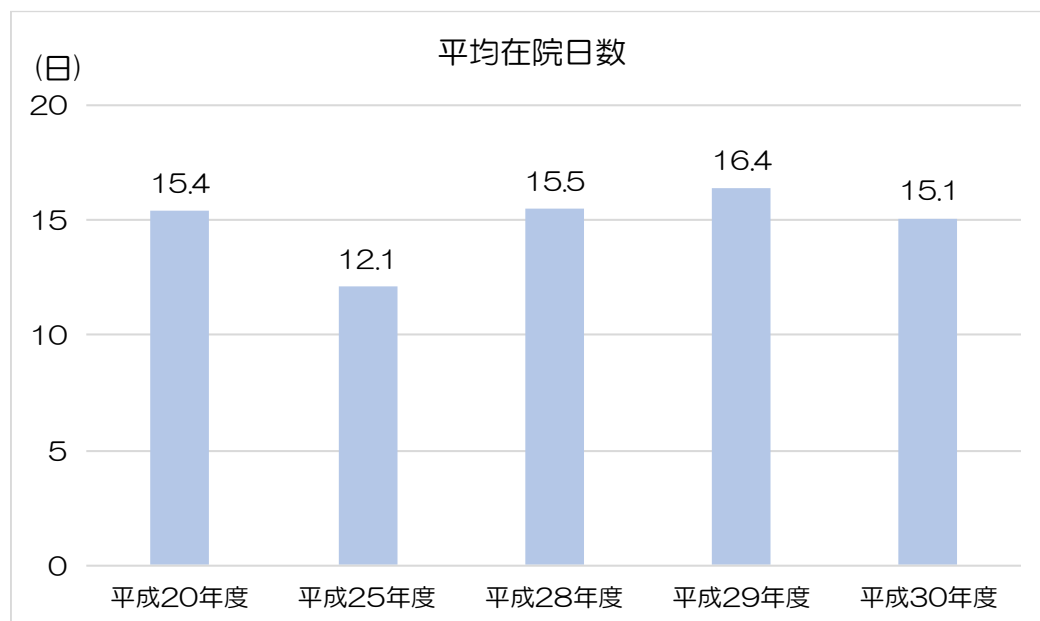
平成15年度～平成30年度にかけて、病床利用率は31.9%～42.6%で推移しています。なお、病床数は平成元年9月に65床から55床、平成21年4月に55床から32床に削減しています。



※宮下病院「院内統計データ（平成15年度～平成30年度）」より

(3) 平均在院日数

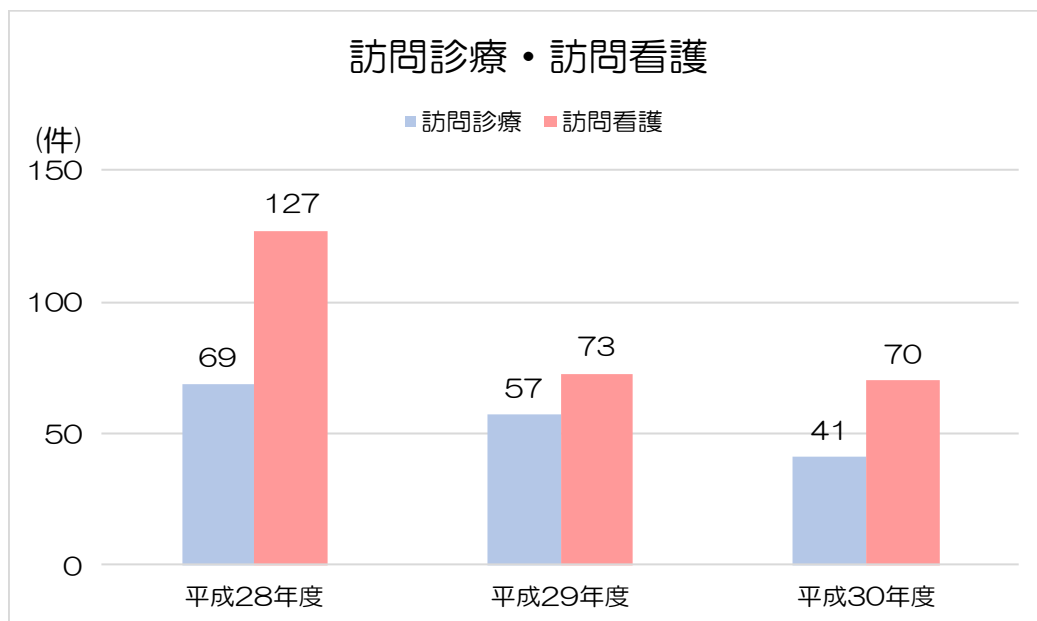
平成20年度～平成30年度にかけて、平均在院日数は12.1日～16.4日で推移しています。



※宮下病院「院内統計データ（平成20年度～平成30年度）」より

(4) 訪問診療・訪問看護

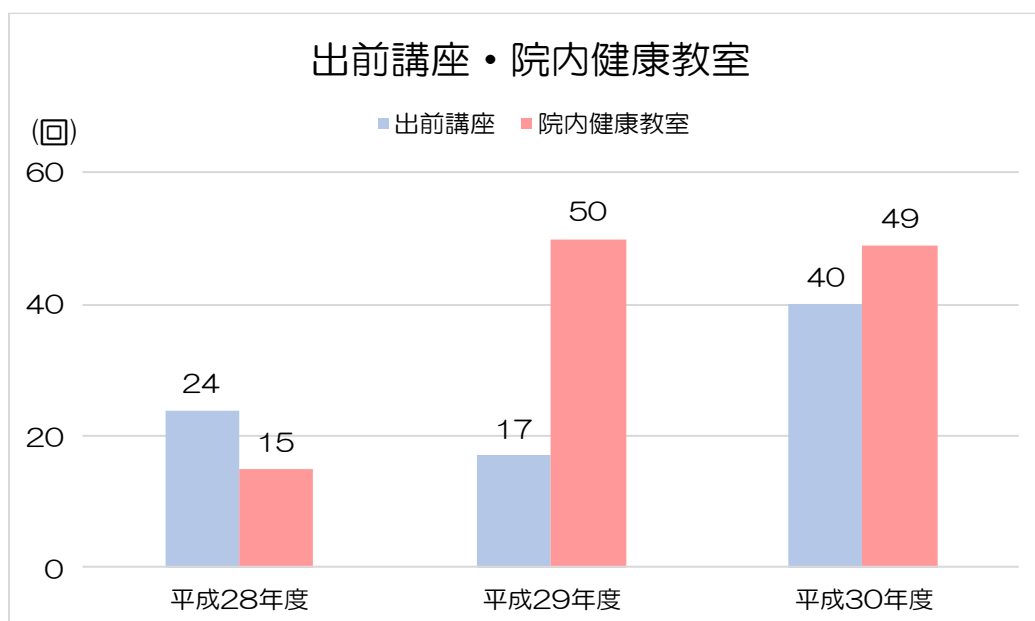
平成28年度～平成30年度にかけて、訪問診療件数は41件～69件、訪問看護件数は70件～127件で推移しています。



※宮下病院「院内統計データ（平成28年度～平成30年度）」より

(5) 出前講座・院内健康教室

平成28年度～平成30年度にかけて、出前講座の開催回数は17回～40回、院内健康教室の開催回数は15～50回で推移しています。

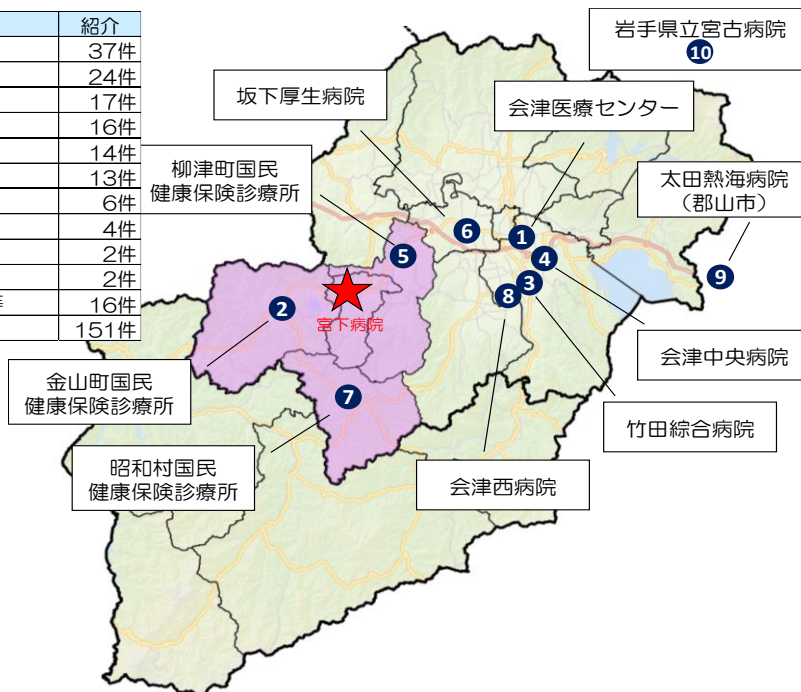


※宮下病院「院内統計データ（平成28年度～平成30年度）」より

(6) 医療機関・介護施設の連携状況

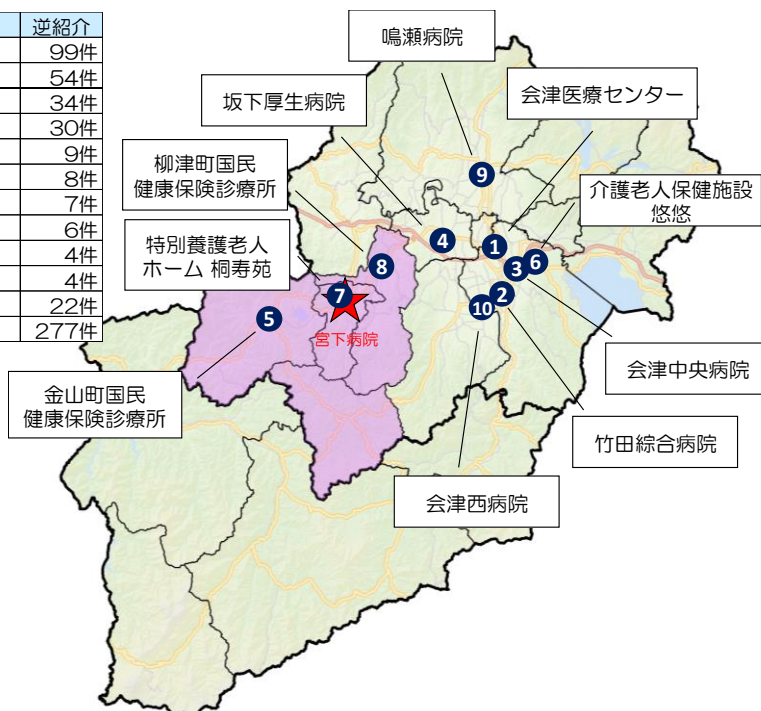
宮下病院への紹介件数は、会津医療センター（37件）が最も多く、次いで、金山町国民健康保険診療所（24件）、竹田綜合病院（17件）となっています。

No.	施設名	紹介
1	会津医療センター	37件
2	金山町国民健康保険診療所	24件
3	竹田綜合病院	17件
4	会津中央病院	16件
5	柳津町国民健康保険診療所	14件
6	坂下厚生病院	13件
7	昭和村国民健康保険診療所	6件
8	会津西病院	4件
9	太田熱海病院	2件
10	岩手県立宮古病院	2件
	その他の医療機関・介護施設等	16件
	合計	151件



宮下病院から他施設への逆紹介件数は、会津医療センター（99件）が最も多く、次いで、竹田綜合病院（54件）、会津中央病院（34件）となっています。

No.	施設名	逆紹介
1	会津医療センター	99件
2	竹田綜合病院	54件
3	会津中央病院	34件
4	坂下厚生病院	30件
5	金山町国民健康保険診療所	9件
6	介護老人保健施設 悠悠	8件
7	特別養護老人ホーム 桐寿苑	7件
8	柳津町国民健康保険診療所	6件
9	鳴瀬病院	4件
10	会津西病院	4件
	その他の医療機関・介護施設等	22件
	合計	277件



※宮下病院「院内統計データ（平成30年度）」より

(7) 救急車搬送受入状況

平成30年の診療圏における救急搬送発生件数は602件であり、うち84件は宮下病院が受け入れています。

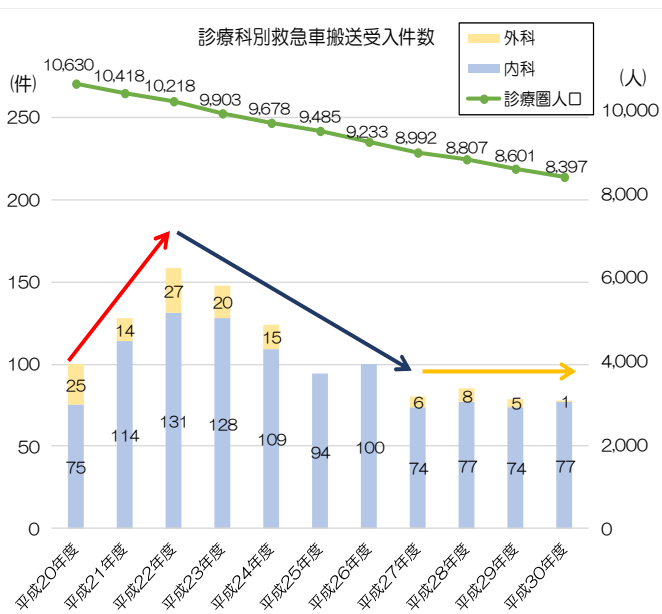
診療圏における救急搬送発生件数・宮下病院受入件数

町・村	平成29年	平成30年	
診療圏	発生件数	557件	602件
	受入件数	67件	84件
	受入割合	12.0%	14.0%
柳津町	発生件数	215件	252件
	受入件数	2件	6件
	受入割合	0.9%	2.4%
三島町	発生件数	106件	113件
	受入件数	21件	28件
	受入割合	19.8%	24.8%
金山町	発生件数	145件	138件
	受入件数	37件	36件
	受入割合	25.5%	26.1%
昭和村	発生件数	91件	99件
	受入件数	5件	11件
	受入割合	5.5%	11.1%
その他	発生件数	—	—
	受入件数	2件	3件
	受入割合	—	—



宮下病院の診療科別救急車搬送受入件数は、平成22年度～平成27年度にかけて減少傾向にあり、平成27年度以降は、ほぼ横ばいで推移しています。

	内科(件)	外科(件)	合計(件)
平成20年度	75	25	100
平成21年度	114	14	128
平成22年度	131	27	158
平成23年度	128	20	148
平成24年度	109	15	124
平成25年度	94	0	94
平成26年度	100	0	100
平成27年度	74	6	80
平成28年度	77	8	85
平成29年度	74	5	79
平成30年度	77	1	78

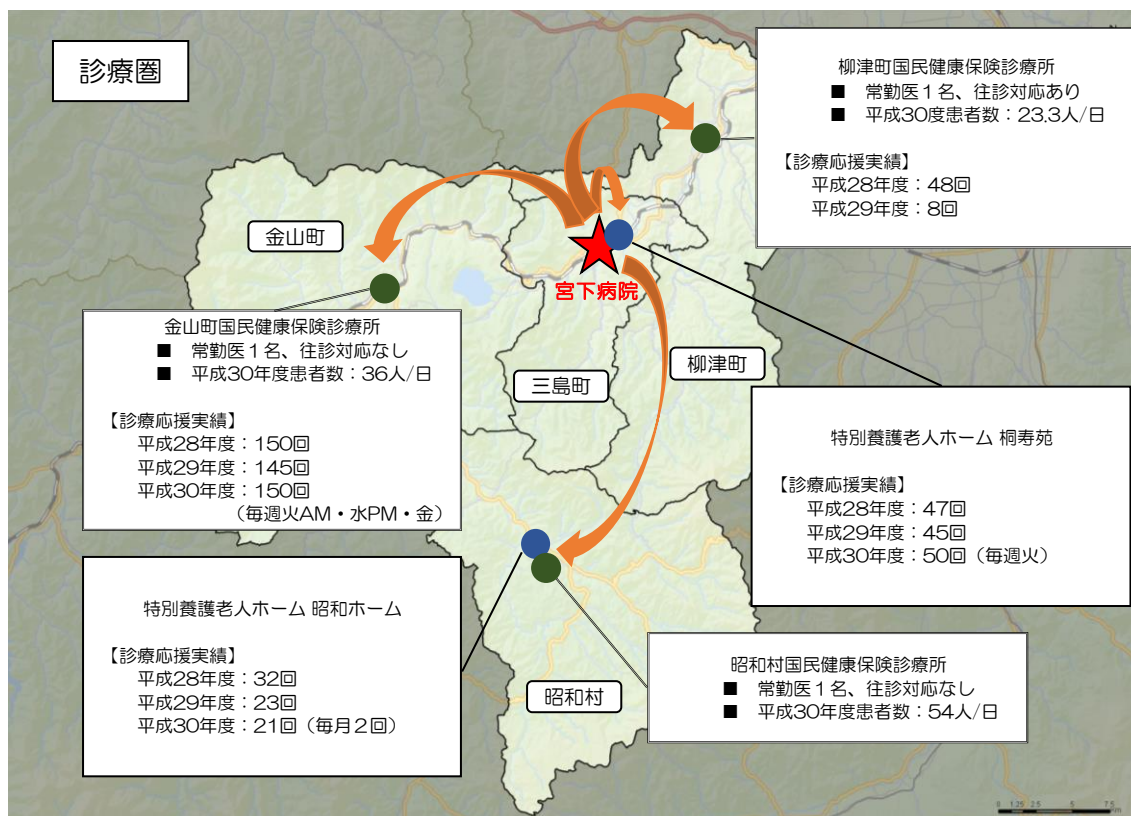


※宮下病院「院内統計データ(平成20年度～平成30年度)」より

※会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部「消防年報(平成29年版～平成30年版)」

(8) 診療応援状況

宮下病院は、「へき地医療拠点病院」の役割として、診療圏内の国保診療所等へ医師を派遣しています。



※宮下病院「院内統計データ（平成28年度～平成30年度）」より

(9) 職員数

平成30年4月1日現在

診療部	内科	医師	2	看護部	外来	看護師	11
	外科	医師(院長)	1		病棟	准看護師	1
	検査	検査技師	1		看護師	16	
		補助	1		准看護師	2	
	放射線	放射線技師	2		部長室	看護師(部長、医療安全担当、 感染対策担当、在宅療養支援担当)	1
	栄養管理	管理栄養士	2			小計	31
	リハビリ	理学療法士	1		薬剤部	薬剤師	2
柔道整復師		1	補助	1			
小計		11	小計		3		
事務部		6	合計		51		
小計		6					

※宮下病院「院内統計データ（平成30年4月1日現在）」より

3 宮下病院の施設基準と病院・有床診療所の比較

宮下病院は急性期一般入院料 4 を算定しています。看護職員の人員配置は、外来が 11 人（夜間 1 人）、病棟が 16 人（夜間 2 人）となっています。

一般例として、急性期一般入院料 4 を算定した病院と、有床診療所入院基本料 1 を算定した有床診療所を比較すると、有床診療所は、病院に対し、病床規模が縮小するほか、診療報酬基本点数が低くなる（収益減）一方、看護職員配置基準が緩和（費用減）されます。

医療法等	病院	有床診療所	現状
病床数	20 床以上	19 床以下	32 床 ※稼働状況： 平均 10.2～13.6 床 (平成 30 年度病床利用率：31.9%)

施設基準等	病院 (急性期一般入院料 4)	有床診療所 (有床診療所入院基本料 1)	現状 (急性期一般入院料 4)
基本点数 (1 日につき)	1,387 点 【収益試算】 96,663 千円	～14 日 861 点 15～30 日 669 点 31 日～ 567 点 【収益試算】 74,484 千円	1,387 点
看護職員 配置人員	外来：8 人以上 (夜間 1 人以上) 病棟：16 人以上 (夜間 2 人以上) 【人件費試算】 118,491 千円	外来・病棟区分なく： 10 人以上 (夜間 1 人以上) ※夜間看護配置加算 1 (1 日につき 85 点)では 14 人以上(夜間 2 人以上) 【人件費試算】 69,120 千円	外来：11 人 (夜間 1 人) 病棟：16 人 (夜間 2 人)

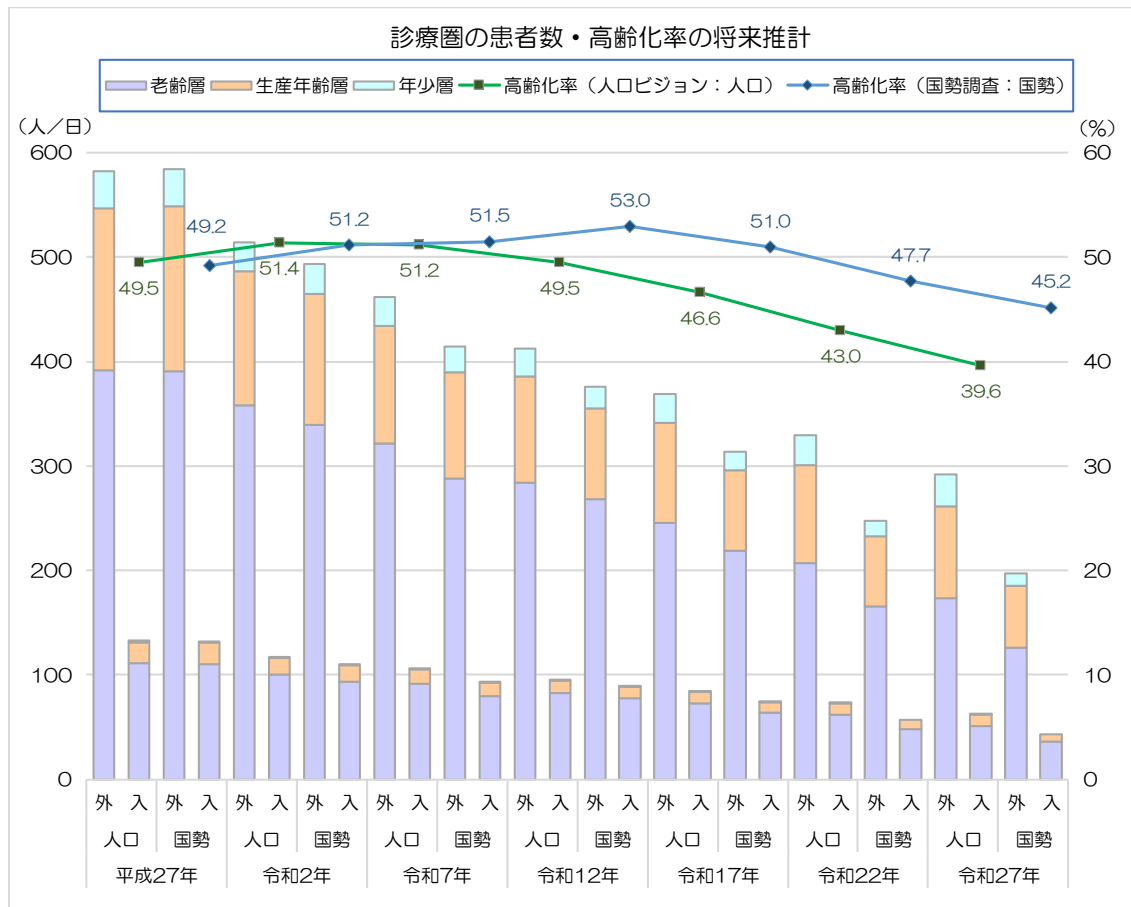
※宮下病院「院内統計データ（平成 30 年度）」

4 宮下病院の診療圏（柳津町・三島町・金山町・昭和村）の現状

（1）将来人口・患者推計

「人口ビジョン」「国勢調査」ともに、診療圏の人口は減少傾向であることが予測されます。

「人口ビジョン」「国勢調査」に基づく患者推計によると、人口の減少に比例して、診療圏で発生する1日当たりの外来・入院患者数も減少することが予測されます。



※柳津町・三島町・金山町・昭和村「人口ビジョン（平成27年度）」より

※総務省統計局「国勢調査（平成22年10月・平成27年10月）」より

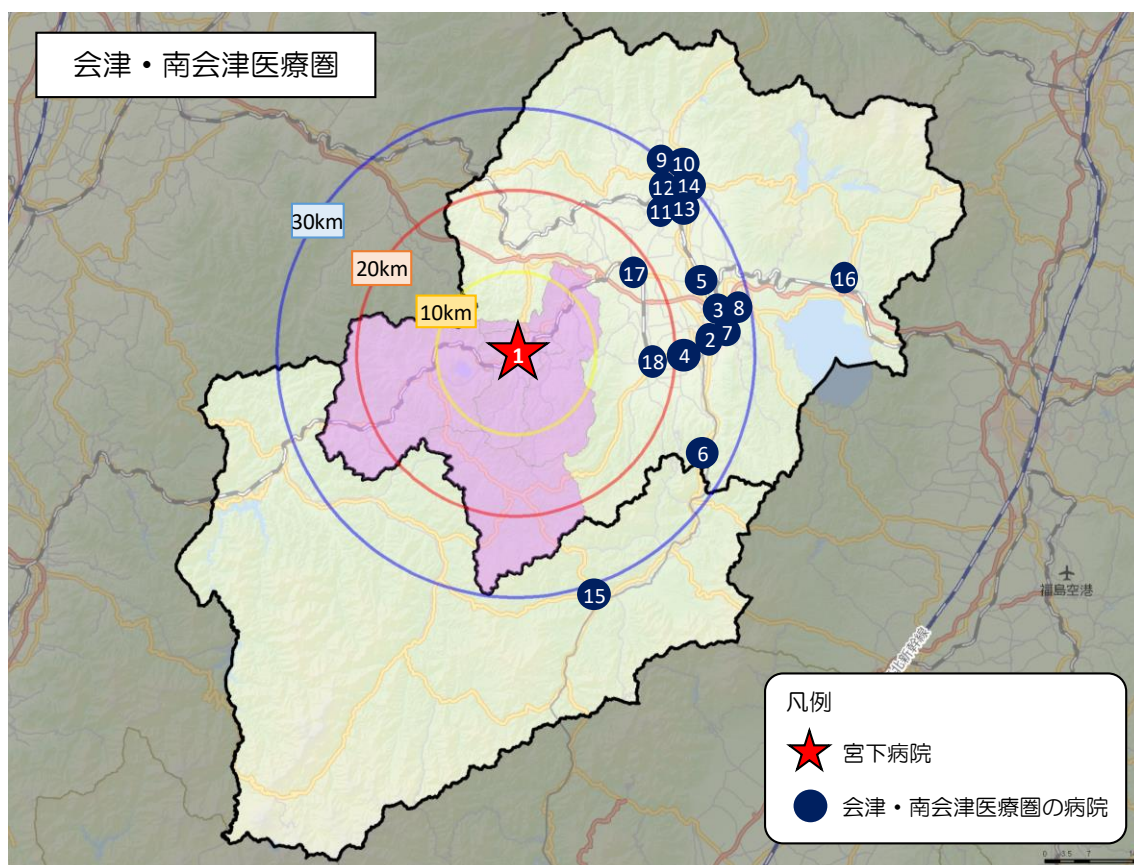
※厚生労働省保健統計室「平成29年患者調査受療率（人口10万対），性・年齢階級×傷病大分類×入院-外来・都道府県別（外来）」

※厚生労働省保健統計室「平成29年患者調査受療率（人口10万対），性・年齢階級×傷病大分類×入院-外来・都道府県別（入院）」

(2) 医療機関・介護施設リスト及びマップ

宮下病院は、診療圏で唯一入院設備を持つ「病院」です。立地する三島町から約20 kmの範囲に、坂下厚生総合病院と高田厚生総合病院が存在します。

No.	病院名	住所	病床数							
			一般	医療療養	介護療養	介護医療院	精神病床	結核病床	感染病床	
1	宮下病院	三島町大字宮下字水尻1150	32	32						
2	竹田総合病院	会津若松市山鹿町3-27	837	693				144		
3	会津中央病院	会津若松市鶴賀町1-1	713	713						
4	医療法人明精会 会津西病院	会津若松市北会津町東小松2335	378	68				310		
5	公立大学法人 福島県立医科大学会津医療センター附属病院	会津若松市河東町谷沢字前田21-2	226	204					14	8
6	芦ノ牧温泉病院	会津若松市大戸町大字芦ノ牧字壇ノ下811-1	120		120					
7	公益財団法人 八澤病院	会津若松市宮町1-1	73		73					
8	つるが松窪病院	会津若松市一真町大字鶴賀字刈林39-1	70					70		
9	医療法人許雲会飯塚病院	喜多方市松山町村松字北原3634-1	410					410		
10	医療法人許雲会飯塚病院附属有隣病院	喜多方市松山町村松字北原3643-1	160	160						
11	医療法人佐原病院	喜多方市永久7689-1	128	35	93					
12	医療法人社団日新会 入澤病院	喜多方市蒔田3106-2	108		20		88			
13	鳴瀬病院	喜多方市字稲荷宮7307-1	90		64	26				
14	医療法人社団小野病院	喜多方市字沼田6994	60	60						
15	福島県立南会津病院	南会津町永田字風下14-1	98	98						
16	猪苗代町立猪苗代病院	猪苗代町字梨木西65	65	65						
17	福島県厚生農業協同組合連合会 坂下厚生総合病院	会津坂下町逆水50	177	177						
18	福島県厚生農業協同組合連合会高田厚生病院	会津美里町字高田甲2981	199	58	50			91		



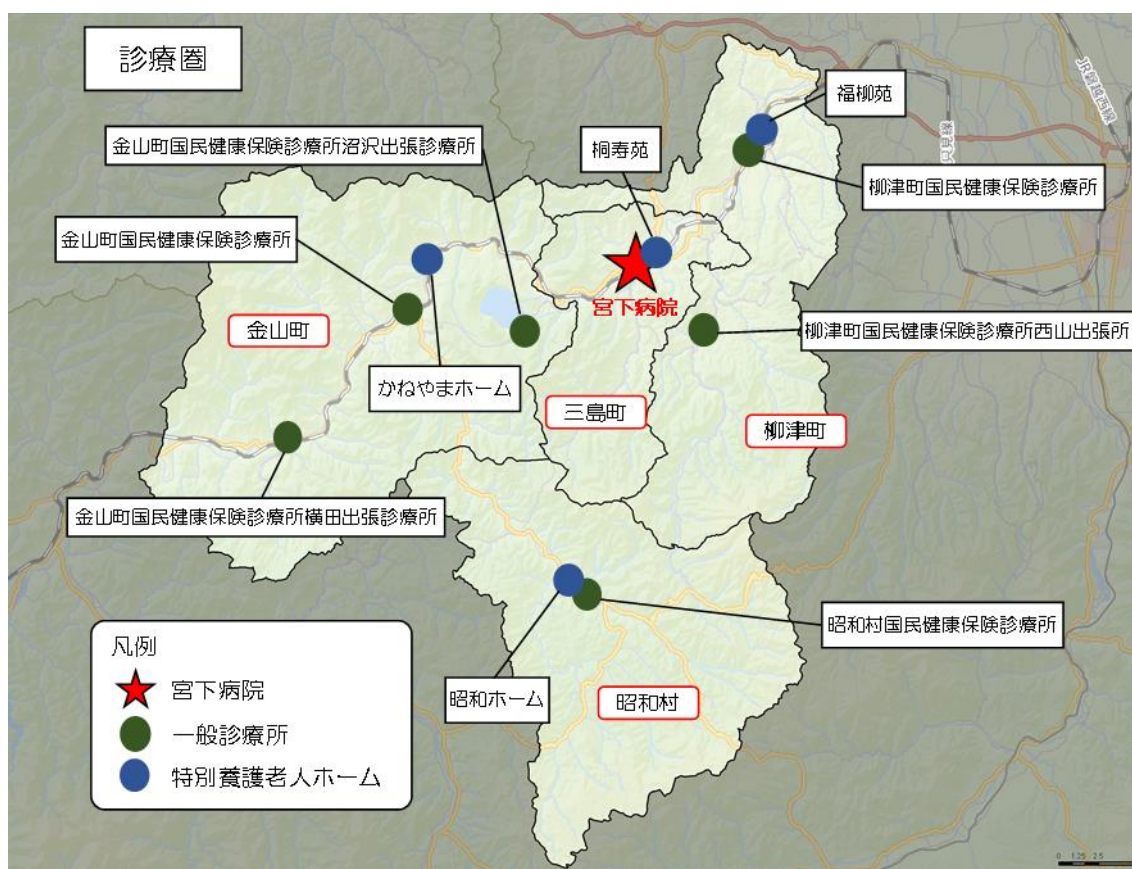
※東北厚生局「届出受理医療機関名簿（平成29年5月1日時点）」より

※福島県「病床機能報告（平成29年度）」より

宮下病院の診療圏には、無床診療所が6施設、特別養護老人ホームが4施設存在します。

一般診療所名	住所	病床数
柳津町国民健康保険診療所	柳津町大字柳津字龍蔵庵乙 510	0
柳津町国民健康保険診療所西山出張所	柳津町大字砂子原字居平 240-3	0
金山町国民健康保険診療所	金山町大字川口字金洗道上 1558	0
金山町国民健康保険診療所沼沢出張診療所	金山町大字沼沢字上田表 963-1	0
金山町国民健康保険診療所横田出張診療所	金山町大字横田字古町 685-1	0
昭和村国民健康保険診療所	昭和村大字小中津川字石仏 1836	0

施設名称	住所	収容数
特別養護老人ホーム 福柳苑	柳津町飯谷字前林甲 370	80
特別養護老人ホーム 桐寿苑	三島町宮下字坂ノ下 659	50
特別養護老人ホーム かねやまホーム	金山町中川沖根原 1324	80
特別養護老人ホーム 昭和ホーム	昭和村小中津川石仏 1930	30



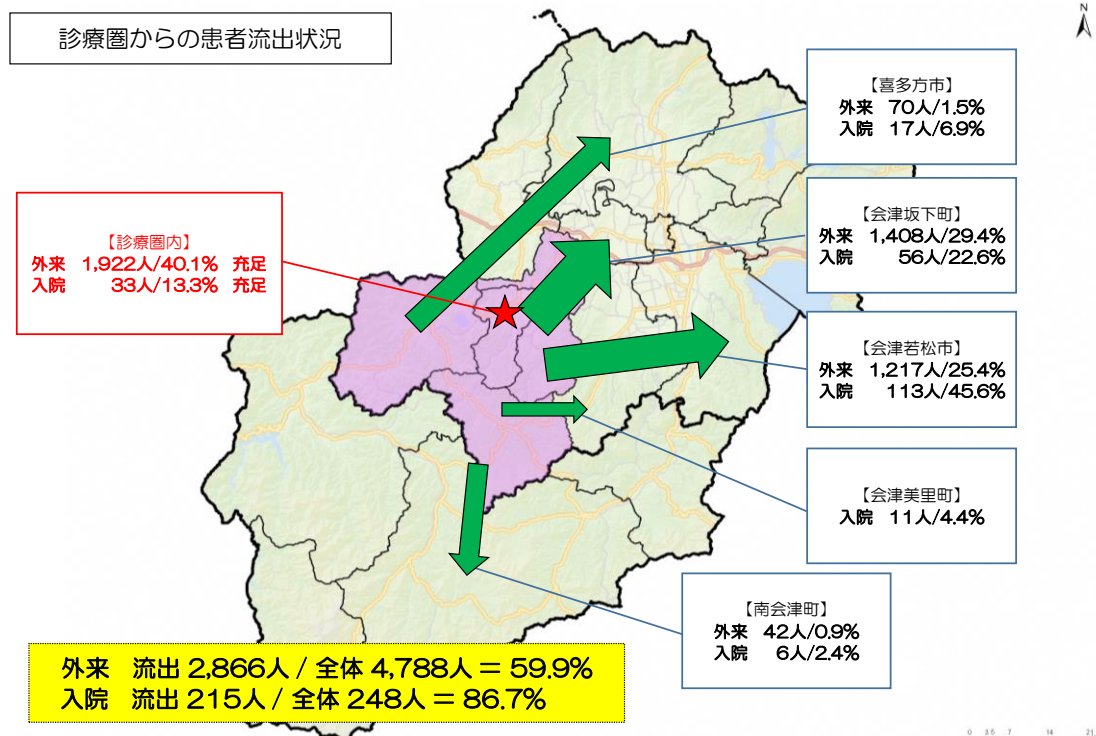
※東北厚生局「届出受理医療機関名簿（令和元年5月1日時点）」より

※福島県高齢福祉課「高齢者施設等一覧（平成31年4月1日時点）」より

(3) 患者流出状況

外来患者の約6割が診療圏外に流出しています。特に、会津若松市・会津坂下町への流出が大きく、5割以上となっています。

入院患者の8割以上が診療圏外に流出しています。特に、会津若松市・会津坂下町への流出が大きく、約7割となっています。



※福島県国民健康保険団体連合会「国民健康保険レセプトデータ 三島町・柳津町・金山町・昭和村（令和元年5月分）」より

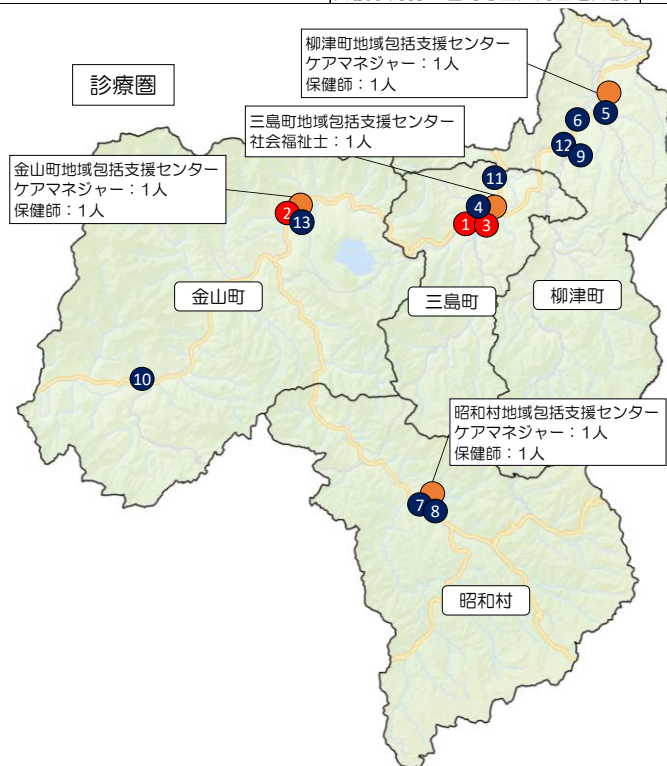
※福島県後期高齢者医療広域連合「後期高齢者保険レセプトデータ 三島町・柳津町・金山町・昭和村（令和元年5月分）」より

(4) 診療圏の訪問看護・訪問介護事業所配置状況

診療圏内で訪問看護・訪問介護を実施する事業所は3施設です。

診療圏内・近隣地域で訪問リハビリを実施する事業所はありません。

No.	事業所名	事業内容	所在地
1	桐寿苑ホームヘルプサービス	訪問介護	三島町宮下字坂ノ下659
	桐寿苑ショートステイ	短期入所生活介護 介護予防短期入所生活介護	
2	ホームヘルプステーション「ゆうゆう」	訪問介護	金山町中川沖根原1324
	かねやまホームデイサービスセンター	訪問入浴介護 通所介護	
	かねやまホーム居宅介護支援事業所	居宅介護支援	
	かねやまホーム短期入所生活介護事業所	短期入所生活介護 介護予防短期入所生活介護	
3	福島県立宮下病院	訪問看護	三島町宮下字水尻1150
		介護予防訪問看護	
4	福寿草デイサービス	通所介護	三島町宮下字乙田889
	桐寿苑居宅介護支援事業所	居宅介護支援	
5	社会福祉法人両沼厚生会 柳津デイサービスセンター	通所介護	柳津町柳津上荒町甲1118
	社会福祉法人両沼厚生会 柳津指定居宅介護支援事業所	居宅介護支援	
6	特別養護老人ホーム 福柳苑	短期入所生活介護	柳津町飯谷字前林甲370
		介護予防短期入所生活介護	
7	特別養護老人ホーム 昭和ホーム	短期入所生活介護	昭和村小中津川字石仏1930
		介護予防短期入所生活介護	
8	昭和村在宅介護支援センター	居宅介護支援	昭和村小中津川字石仏1836
9	すみれ荘居宅介護支援事業所	居宅介護支援	昭和村小中津川字石仏1836
9	デイサービスセンター 咲顔	地域密着型通所介護	柳津町郷戸字石神浦甲2279
10	よこたデイサービスセンター	地域密着型通所介護	金山町横田字古町685-1
11	デイサービス西輝	地域密着型通所介護	三島町西方字居平77
12	グループホーム柳の杜	認知症対応型共同生活介護	柳津町郷戸字川口原丙1106-22
		介護予防認知症対応型共同生活介護	
13	グループホームかねやま	認知症対応型共同生活介護	金山町中川沖根原1223-1
		介護予防認知症対応型共同生活介護	



※福島県高齢福祉課「サービス別事業所一覧（令和元年10月1日現在）」より

※各地域包括支援センター「聞き取り調査（令和元年11月7日時点）」より

5 宮下病院機能検討委員会

(1) 宮下病院機能検討委員会設置要綱

(設置目的)

第1条 宮下病院の建替えを前提として、今後、地域の医療圏において果たすべき機能のあり方について検討することを目的に、「宮下病院機能検討委員会」(以下、「委員会」という。)を設置する。

(検討事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について必要な検討を行う。

- (1) 果たすべき機能のあり方に関する事項
- (2) その他目的達成のため必要な事項

(組織)

第3条 委員会は、別表に定める委員をもって組織する。

- 2 委員の任期は、第2条に定める事項の検討が終了するまでとする。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

- 2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故等あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議(以下、「会議」という。)は、委員長が招集する。

- 2 会議は、原則として公開とする。ただし、次に掲げる場合は、非公開とする。
 - (1) 検討において個人情報等を取り扱う場合
 - (2) その他委員長が非公開と判断した場合
- 3 委員長は、会議に付する必要がないと認める事案については、持ち回り審査により過半数の委員の同意をもって、会議の審査に代えることができる。

(意見の聴取)

第6条 委員長は、必要に応じて専門的助言及び意見を得るため、会議に委員以外の者の出席を求めることができる。

(秘密の保持)

第7条 委員は、その職務上知り得た秘密を他に漏らし、又は自己の利益のために利用してはならない。その職を退いた後も同様とする。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、病院局病院経営課において処理する。

(雑則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和元年9月6日から施行する。

(2) 検討委員会委員名簿

所属等	役職	氏名 (五十音順)	備考
宮下病院	院長	浅野 宏	
三島町	特命担当課長	小柴 謙	
一般社団法人 両沼郡医師会	会長	佐藤 信也	
公立大学法人 福島県立医科大学看護学部 地域・在宅看護学部門	教授	高橋 香子	
公立大学法人 福島県立医科大学会津医療センター 小腸・大腸・肛門科学講座	教授	富樫 一智	
南相馬市立総合病院 事務部経営管理課	事務部参事 兼経営管理課長	能勢 成人	
社会福祉法人 みしま	理事長	秦 千代栄	
公立大学法人 福島県立医科大学附属病院 総合内科	教授	濱口 杉大	委員長

(3) 検討委員会開催状況

開催日		内容
令和元年	10月18日(金) @県立医科大学	第1回検討委員会 ・委員会のスケジュール ・宮下病院の現状と取り巻く環境
	11月29日(金) @三島町町民 センター	第2回検討委員会 ・宮下病院の機能のあり方①
	12月20日(金) @県立医科大学	第3回検討委員会 ・宮下病院の機能のあり方②
令和2年	2月14日(金) @杉妻会館	第4回検討委員会 ・宮下病院機能検討委員会 報告書(案)

